

整形外科

研修プログラムの概要

概要

臨床研修到達目標（厚生労働省）の中には整形外科関連疾患の研修が多く含まれており、これに対して日本整形外科学会は整形外科臨床研修カリキュラムを作成している。本プログラムではこのカリキュラムに準拠して研修をすすめる。

特徴

熊本大学病院整形外科では、多種多様な運動器の疾患に対して安全で高度な医療を提供することを目標に、専門診療体制（膝関節外科、肩関節外科、脊椎・脊髄外科、腫瘍外科、スポーツ整形、小児整形、リハビリテーション等）を整備し診療に取り組んでいる。本プログラムでは、研修医の希望に応じて、専門診療分野を選択して、あるいはこれらをローテートしながら研修を行うことが可能である。さらに救急外傷やスポーツ外傷・障害に関しては、関連施設と連携して全ての研修医が経験できるよう配慮している。

研修の目標

I. 救急医療

（一般目標）

運動器救急疾患・外傷に対応できる基本的診療能力を修得する。

（行動目標）

1. 骨折・脱臼・靭帯損傷に伴う全身的・局所的症状を述べることができる。
2. 神経・血管・筋腱損傷の症状を述べることができる。
3. 脊髄損傷の症状を述べることができる。
4. 骨折・脱臼・靭帯損傷を診断でき、その重症度を判断できる。
5. 神経・血管・筋腱の損傷を診断できる。
6. 神経学的観察によって麻痺の高位を判断できる。
7. 骨・関節感染症の急性期の症状を述べることができる。

II. 慢性疾患

（一般目標）

適正な診断を行うために必要な運動器慢性疾患の重要性と特殊性について理解・修得する。

（行動目標）

1. 変性疾患を列挙してその自然経過、病態を理解する。
2. 関節リウマチ、変形性関節症、脊椎変性疾患、骨粗鬆症、腫瘍のX線像、MRI、造影像の解釈ができる。
3. 上記疾患の検査、鑑別診断、初期治療方針を立てることができる。
4. 腰痛、関節痛、歩行障害、四肢のしびれの症状、病態を理解できる。
5. 理学療法の方が理解できる。
6. 病歴聴取に際して患者の社会的背景やQOLについて配慮できる。
- ※ 7. 神経ブロック、硬膜外ブロックを指導医のもとで行うことができる。
- ※ 8. 関節造影、脊髄造影を指導医のもとで行うことができる。

- ※ 9. 後療法の重要性を理解し適切に処方できる。
- ※10. 一本杖、コルセット処方が適切にできる。
- ※11. リハビリテーション・在宅医療・社会復帰などの諸問題を他の専門家、コメディカル、社会福祉士と検討できる。

III. 基本手技

(一般目標)

運動器疾患の正確な診断と安全な治療を行うためにその基本的手技を修得する。

(行動目標)

1. 主な身体計測 (ROM、MMT、四肢長、四肢周囲径) ができる。
2. 疾患に適切なX線写真の撮影部位と方向を指示できる (身体部位の正式な名称がいえる)。
3. 骨・関節の身体所見がとれ、評価できる。
4. 神経学的所見がとれ、評価できる。
- ※ 5. 一般的な外傷の応急処置ができる。
 - i) 骨折、脱臼
 - ii) 靭帯損傷 (膝、足関節)
 - iii) 神経・血管・筋腱損傷
 - iv) 脊椎・脊髄外傷の治療上の基本的知識の修得
 - v) 開放骨折の治療原則の理解
- ※ 6. 免荷療法、理学療法の指示ができる。
- ※ 7. 清潔操作を理解し、創処置、関節穿刺・注入、小手術、直達牽引ができる。
8. 手術の必要性、概要、侵襲性について患者に説明し、うまくコミュニケーションをとることができる。

IV. 医療記録

(一般目標)

運動器疾患に対して理解を深め、必要事項を医療記録に正確に記載できる能力を修得する。

(行動目標)

1. 運動器疾患について正確に病歴が記載できる。
2. 運動器疾患の身体所見が記載できる。
3. 検査結果の記載ができる。
4. 症状、経過の記載ができる。
5. 診断書の種類と内容が理解できる。
- ※ 6. 検査、治療行為に対するインフォームド・コンセントの内容を記載できる。
- ※ 7. 紹介状、依頼状を適切に書くことができる。
8. リハビリテーション、義肢、装具の処方、記録ができる。

各行動目標の中で、無印は研修期間1～3ヶ月での到達目標、※印は研修期間4～8ヶ月での到達目標である。

研修の方略 (スケジュール)

研修医は、研修指導医と一緒に入院患者さんを受け持ち、その診療にあたるとともに、手術・外来診療に参加する。

○週間スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	手術	外来	手術	外来	症例検討会 抄読会 外来
午後	手術 教授回診 症例検討会	病棟	手術	病棟	病棟

○病棟グループのスケジュール

【 関節グループ 】

症例検討会・抄読会 火曜 7時45分～
グループ回診 水曜 16時～

【 脊椎・脊髄グループ 】

抄読会 月曜 17時～
グループ回診、症例検討会 水曜 16時～

【 腫瘍グループ 】

抄読会 月曜 18時～
グループ回診、症例検討会 水曜 16時～

研修の評価

研修指導医、研修指導責任者、研修実施責任者は1週毎に研修医の到達目標達成度について点検・評価を行い、次週の研修の参考とする。研修修了時点で、研修実施責任者は研修医手帳に従って最終的な達成度評価を行う。

研修実施責任者

整形外科教授 ：宮本 健史

研修指導責任者（指導医）

（正）岡 潔 （副）岡元 信和